

中長期経営計画

(2024~2030)

2024/09/01

株式会社 熊本計算センター

中長期経営計画 (2024~2030)

目次

1. トップメッセージ
2. 中長期経営計画について
 - 2-1. 会社の使命
 - 2-2. 経営理念
 - 2-3. V I S I O N
 - 2-4. 基本方針
 - 2-5. ビジネス方針
 - 2-6. 社員への方針
 - 2-7. 社会貢献・社会的責任
 - 2-8. DX推進計画
 - 2-9. DX指標
 - 2-10. 財務・人員・行動計画

1. トップメッセージ

昨今、DXといったデジタル技術を使ったサービスやビジネスモデルの変革が進んでおります。弊社においても時代に沿った事業・サービスに変革し、経営理念であります「お客様を第一」を考え、行動し、デジタル技術によりお客様と共に社会の課題を解決して参ります。また、事業を通じて地域社会に貢献し、熊本から全国、世界で活躍できる企業へと成長し、社員、ステークホルダーが皆、幸せになるようにチャレンジし続けます。

DX企業として責任をもち、誰一人取り残さない持続可能な社会を目指します。



代表取締役社長
豊住 周二

2. 中長期経営計画について

中長期計画を作成することにより、改めて会社の使命（ミッション）、経営理念、VISIONを明確にし、中長期計画のもと、お客様を第一に考え、社員・ステークホルダーを守り、地域社会に貢献し、2030年に向けたビジネス展開を行います。

2-1. 会社の使命（ミッション）

- 最新のIT技術を取り入れ、お客様に満足いただける
プロダクト・ソリューションサービスを提供すること。
- 社員とその家族を守る為に、事業を継続すること。
- 利益を出すことにより、地域・社会へ貢献すること。

2 - 2. 経営理念

私たちは、お客様を第一に考え、行動し、デジタル技術によりお客様と共に社会の課題を解決します。

事業を通じて社会に貢献し、社員、ステークホルダーが皆、幸せになるようにチャレンジし続けます。

2-3. VISION

- 情報処理サービスの枠を超え、デジタル技術による変革を実現する企業へ
- 社会的責任を果たし、社会貢献を推進し、信頼される企業へ
- 自律的な社員、チャレンジを恐れない社員が、笑顔で活躍する企業へ

2-4. 基本方針

会社の使命、経営理念を念頭に、新しい技術・DXを駆使した、お客様が満足できる品質の高いプロダクト・ソリューションサービスを提供し続ける。また社会環境の変化に対応し、社会貢献、環境保護、法令順守、リスクマネジメントを行いながら健全な経営を行い、社員が安心、安全に働ける会社として存続し続ける。

2-5. ビジネス方針

ビジネス方針

- ・ デジタル技術を駆使した新たなプロダクトの創出
- ・ 標準化、クラウドによるプロダクトの全国展開
- ・ 既存製品の付加価値向上（A I、I O T等）
- ・ インフラ・ネットワーク・セキュリティビジネスの拡大
- ・ D X先進企業との協業の強化
- ・ S I 事業からコンサル・D X提案サービスへの変革
- ・ データドリブンによる経営
- ・ プロセスの改善による生産性の向上
- ・ 品質の向上、トラブル・仕損プロジェクトの撲滅



2 - 6. 社員への方針

社員への方針

- ・ 心理的安全性の向上
- ・ キャリア形成支援、教育環境の充実
- ・ 人事評価制度の確立
- ・ 安定した賃金、業績に応じた報酬
- ・ 福利厚生、働き方、職場環境の充実
- ・ ワークライフバランス推進
- ・ 多様性の尊重



2-7. 社会貢献・社会的責任

社会貢献・社会的責任

- ・SDGs 目標達成への取り組み。熊本県SDGs登録事業者継続（更新）
- ・ブライト企業、健康経営優良法人の継続
- ・健全な財務体質の継続
- ・個人情報保護、情報セキュリティマネジメントシステムの継続
- ・コンプライアンス遵守



著作権表示 ©2010熊本県くまモン
私たちは熊本県SDGs登録事業者です



©2010熊本県くまモン



2 - 8. DX推進

DXへの取り組み

DXへの取り組みについての詳細は、当社ホームページ上で公表している、
こちらのリンク（PDF）をご覧ください。

[「DXへの取り組み」](#)

2-9. DX指標（社内）

No.	社内DX指標	指標	2024年度	2025年度	2030年度	具体的な取り組み
1	プロセスの改善による生産性の向上、業務改善	向上率	—	10%	30%	工数、作業時間管理の徹底 生成AIの活用 Teamsの活用
2	品質の向上、トラブル・仕損プロジェクトの撲滅	障害削減率	—	10%	20%	事故発生件数、対応時間把握、管理 ISO9001取得
3	ペーパーレス	印刷物削減率	—	30%	50%	プリンター数削減 印刷認証機能追加
4	脱ハンコ	押印削減率	—	30%	50%	法律、条令等の確認、対応
5	新規ソリューション研究開発要員増強（DX）	社員数	3名	5名	20名	採用強化 DX資格セミナー受講 DX資格報奨金追加
6	DX資格保持者	社員数	6名	25名	120名	DX資格セミナー受講 DX資格報奨金追加
7	DX推進指標	レベル	1.1	2	3	DX推進計画、実施

2-9. DX指標（社外）

No.	社外DX指標	指標	2024年度	2025年度	2030年度	具体的な取り組み
1	デジタル技術を駆使した新たなプロダクトの創出	開発件数	-	1件	3件	DXを新規商談獲得 ※ 1 クラウドアプリ(分離型)の開発
2	SI事業からコンサル・DX提案サービスへの変革	提案件数	-	1件	10件	お客様へのDX提案 ※ 1
3	標準化、クラウドによるプロダクトの全国展開	導入数	3団体	50団体	250団体	自治体システム標準化対応
4	既存製品の付加価値向上（AI、IOT等）	組み込み件数	-	1件	5件	既存製品のDX組み込み ※ 2
5	インフラ・セキュリティビジネスの拡大	提案件数	-	1件	10件	インフラ・セキュリティ営業 AWS、Azure等の提案
6	DX先進企業との協業の強化	アライアンス件数	3社	10社	20社	各団体、委員会へ積極的な参加

※1.デジタル技術を駆使した新たなプロダクトの創出、SI事業からコンサル、DX提案サービスへの変革

ワークフロー・文書管理システム、RPA、ノーコード・ローコードツール、生成AI等を、社内で活用し、得られた知見・ノウハウをもとに、顧客に最適なソリューションを創出・提案する。営業戦略WG創設。

※2.既存製品の付加価値向上（AI、IOT等）

当社製品への最新技術の組み込み（生成AI機能、IOT技術を付加する等）を行ったサービスや、デジタルツールを組み合わせた魅力的なサービスを提案する。

2-10. 財務・人員・行動計画

1. 売上、利益の増額

今後の各期予算は前期比、売上・利益を1割増で計画し、**2030年には売上50億、経常利益5億**を目指す。

2. 社員数増強（社員数300人）

採用体制を強化し、優秀な人材確保。認知度アップ。またエンゲージメントを強化し、離職率を下げる取り組みを行う。

2-10. 財務・人員・行動計画

3. 中期行動計画（VISION60）

2025年度（第60期）へ向けての取り組み

①人材育成・組織力強化

ヒューマンスキル、マネジメント能力の向上、最新技術（AI、IoT、ビッグデータ等）の習得。
優秀な人財確保、認知度アップ、**エンゲージメント強化**、業務に特化・集中した組織の形成。
心理的安全性の向上、最適な人財配置、人脈形成、ブランド力強化、**BCM、BCPの継続**。

②品質、売上、利益向上

データ活用した営業戦略、**デザイン思考**での、ソリューション、プロダクト、サービスの提供。
作業効率化、**品質の向上**を行い仕損を減らす。ISO9001取得。

2 - 10. 財務・人員・行動計画

3. 中期行動計画（VISION60）

③行動（意識）改革

環境や地域社会への貢献、健康経営、ガバナンス強化、企業価値の向上。

行動指針のもと、組織・チーム目標への取り組み、法律・ルールの順守、自己啓発。

明日に、答えを
Tomorrow, the Answer

2024/09/01

株式会社 熊本計算センター